### 事業計画書

事業者名	株式会社 MINAMISOMA			
担当者名				
連絡先 (電話番号等)	電話: メール: ×××@×××			
事業名	次世代型コミュニケーションロボットの開発			
事業実施期間	令和7年6月15日 ~ 令和8年3	8月31日		
事業の目的	本事業では、音声や動作などの手段を使った人とのコミュニケーション機能の他に、掃除や配送などの機能を加えた次世代型コミュニケーションロボットを開発することで、高齢者介護等の業務量削減に役立てることを目的とする。			
事業の概要	次世代型コミュニケーションロボット『ミナボくん』のプロトタイプの開発を行う。1年目は、ソフトウェア、機構の設計・開発を行い。2年目は、外装のデザイン設計・製作、安全性の確認のための実証を行い、適宜改良を行う。			
実施予定(計画)				
年 月	内 容	備考		
令和7年6月~	南相馬事務所の設置	市内空き事務所を改修		
令和7年7月~	ロボットの設計、ソフトウェアの開 発	一部設計を㈱ システム開発に委託		
令和7年10月~	部品の調達、加工、組み立てを行う	金属㈱に部品の加工、 組み立てを㈱ 工業に 委託		
令和8年3月	コミュニケーションロボット「ミ ナボくん1.0」完成			

## 備考

- 1 欄が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 実施予定(計画)は、申請年度に実施するもののみ記載してください。

# 複数年度事業計画書

	・南相馬市への拠点の設置 ・Chat-GPT等AIを活用したおしゃべり機能の開発。		
	・ロボットの機構を設計。 ・プロトタイプ用の部品発注、組み立てを行う ・プロトタイプの動作確認。		
1年目実施概要			
	想定連携企業	開発	<b>属株)、(株)</b> システム
	想定成果物	コミュニケーション[ 『ミナボくん 1 .0』	
	1年目に作成したプロトタイプの実証実験を進め、商品化のためのブラッシュアップを行う。 ・外装のデザイン、製作。 ・実証実験 ・実証実験の結果を受け、適宜部品の改良や機構の設計の見直しを行う。		
2年目実施概要			
	想定連携企業	(株) 工業、 金属 関係事業者	属㈱、㈱ 設計、介護
	想定成果物	コミュニケーション[ 『ミナボくん2.0』	コボット
	想定経費	(千円)	
	全体経費(税込)	補助対象経費	補助金申請額
1年目	14,000	14,000	9,333
2年目	16,000	16,000	7,500
合計	30,000	30,000	16,833
開発品の市場性	少子高齢化に伴い、介護業界は人手不足に悩んでいる施設が多く あります。次世代型コミュニケーションロボット『ミナボくん』 を導入することで、介護職員の業務の一部を任せることができ、		
・ 補助事業終了後の 展望	業務負担を軽減することができることから、介護業界において需要があるものと考えています。 また、量産化を視野に入れ開発を続け、引き続き地元企業に部品		
	また、量産化を視野に 等の発注を行う予定で		き続さ地元企業に部品

具体的な企業が決まっていない場合は、具体的な業種を記載すること。

### 様式第4号(第7条関係)

### 収支予算書

# 1 収入 千円未満切り捨て

区分	事業予算額	説明
市補助金	9,333千円	
自己資金	4,667千円	
合 計	14,000千円	

# 2 支出 千円未満切り捨て

区分	支出予定額	説明
部品調達費	6,900千円	ロボット部品の原材料費及 び加工費
拠点設置費	3,000千円	事務所改修費、エアコン、暖 房機器購入費
設計費	1,500千円	ロボットの機構の設計委託 費
調整費	2,500千円	ロボットの組み立て及びメ ンテナンス委託料
調査費	100千円	開発に必要な資料の購入費
	千円	
事業予算額	14,000千円	

### 備考

- 1 欄が足りない場合は適宜追加してください。
- 2 千円以下の金額については、切り捨てた額を記入してください。